

Neues in Nara

Nr.51

2015年4月18日

「は(歯)なしにならない話
～ドイツのお菓子付～」



松本俊郎、松本規子

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

●行事予定

1. 奈良日独協会・平成27年度年次総会開催予定

日時：5月17日(日)13:30～15:00

場所：大安寺催事棟

会員の皆様万障お繰り合わせのうえご出席願います。尚、平成27年度の会費(個人2000円、法人一口4000円)の納入手続きを頂きますよう、よろしく願います。

尚、総会の後、アメリカより来奈の演奏家によるギターとマンドリンのコンサートが催されます(詳細は同封のチラシを参照ねがいます)。

2. 「ギリシャ考古学の父シュリーマン」展

会期：4月15日～6月8日

会場：天理大学天理参考館

主催：天理大学、天理参考館、天理図書館

奈良日独協会は協力行事として参加。

3. 2015年度全国日独協会総会

4月17～18日いわき市で開催。

●行事報告

1. 第8回シュタムティッシュ

2月8日(日)大安寺催事棟にて、会員の松本俊郎様から「は(歯)なしにならない話」というテーマで歯を守る事の大切さとそのための対策について、ご専門の顎顔面バイオメカニクスの立場からユーモアを交えてお話頂き、出席者全員あらためて歯の大切さに思いを馳せました。さらに奥さまの規子様から手作りのドイツのお菓子を頂きながら、その作り方についてお話をうかがうことが出来、お腹も満足の楽しい一日でした。

(左上は同日のスライドから)



①Weihnachtsstollen

クリスマスシュトレレン



②Bienenstich

ビーネンシュティツヒ



③Vanillekipferl

バニレキプフェル



2. 天理大学・特別展「ドイツと日本」

天理大学では、創立90周年を記念して4月2日・3日の両日、大学付属天理図書館で上記特別展が催された。同展には、マルティン・ルターのドイツ語訳聖書など多くの貴重な資料が展示され、注目を集めた。

(写真は同展のチラシ)



●会員だより

芹沢友香さんから

「私を変えたドイツ留学」

今回は私のドイツ留学の話をしようと思います。私がドイツへ留学するきっかけは、大学在学中に第二外国語で履修したドイツ語の授業がとても面白く、当時の先生から「そんなにドイツ語が好きなら、一度本場に行ってみたらどうか」と勧めて頂いたことです。

当時、大学でドイツオペラについて勉強をしていましたので、ドイツ語が理解できればもっとオペラも理解できるのではないかと思い、2004年にBerlin、Dresden、Chemnitzへ2か月間の短期留学へ行きました。しかしその頃の私の語学力では学校の授業やホストファミリーの会話についていくことが出来ず、本当に悔しい思いをしました。日本に帰ってからあの時の悔しい思いが消えず、両親を説得し2005年から1年間Marburg大学に留学出来ることになりました。最初の半年間とはとにかく毎日語学学校に通い、学校が終われば日本語学科の学生にドイツ語を教えてもらう日々でした。なかなか上達しない自分に苛立ちもありましたが、いつか上達すると信じて、毎日とにかくドイツ語を読み、書き、話すように心がけました。そしてある日、突然自分の耳から聞こえてくる「音」が前日と全く違う事に気づきました。友人にその事を話すと「ドイツ語が自然と体に入ってくる日が本当に突然やって来るらしい」とのこと。まさに体にスッと入ってくるようにドイツ語が聞こえるようになっていました。それからはみるみるドイツ語が理解できるようになり、最後の3か月は念願だった音楽学の授業にも参加することができました。



(左端上が芹沢友香さん)

(Marburg城)

Marburgの街の雰囲気がどこか奈良と似ていた所も安心して勉学に励めた理由の一つだと思っています。私にとってドイツは私の人生を大きく変えてくれた特別な国です。この秋から再びドイツ語を学ぶため、学校に通っています。いつか私の大好きなドイツの文化を知ってもらおう活動を地元奈良でやりたいというのが今の私の夢です。

●新入会員

高原弘海さん(西宮市)、森田祥子さん(奈良市)、池上麻衣子さん(橋本市)、池上奈津代さん(橋本市)